

令和元年6月24日付【建設通信新聞】
九州支部 建設コンサル5団体 法令順守で研修
＜建設業の課題学ぶ＞

建設業の課題学ぶ

建設コンサル 5団体 法令順守で研修

建設コンサルタツ協会九州支部など建設コンサル5団体は19日、福岡市の福岡県中小企業振興センターで「2019年度コンプライアンスに関する会員研修会」を開いた。研修会は、同支部のほか、福岡県測量設計コンサルタツ協会、福岡県地質調査業協会、日本補償コンサルタツ協会九州支部、全国上下水道コンサルタツ協会九州支部が共催した。

冒頭、代表してあいさつした全国上下水道コンサルタツ協会九州支部の松尾禎泰理事長は、「社会活動の一翼を担っている者として今後とも頑張りたい。また、豪雨などの自然災害の防災・減災に関しても建設コンサル5団体が力を合わせていかねばならない」と述べ、会員の協力を求めた。

研修会では、九州地方整備局建設部の天方正彦建設産業調整官が「建設業の課題への次の一手」をテーマに講演し、建設業の働き方改革や生産性向上、建設キャリアアップシステム、外国人材受入制度の取り組みを説明した。続いて、NPO法人福岡センター研究所の高木里美理事が「職場におけるハラスメントの防止」について講演した。

